

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月1日

事業所名 放課後等デイサービスピーさん

	チェック項目	はい	どちらと	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた
						改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	1	0	個別の部屋運動スペースを十分確保している。	*事業所隣敷地（デニスコート1面分）でキャッチボール、ボール蹴り、鬼ごっこ、虫とりなど自由に体を動かせる場所が確保されている。 *事業所敷地内の畑でじゃが芋等を育て、収穫し、その食材を使い役割分担で料理を実施している。 *豊かな心を育てる為にポニーの飼育も行っている。
	2 職員の配置数は適切である	8	2	0	人員配置基準を満たしている。	*保育士、児童指導員の資格を有し、幅広い視点に立ち療育を行う。 *ケース検討会議の時間をできるだけ多く取るように工夫している。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	0	0	玄関段差は必要時スロープを置くことで合理的配慮を行う。	*回答なし1 *介助の必要に応じて職員が対応している。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8	1	0	利用者の個別支援計画に基づき発達支援・生活支援・自立支援・学習支援・余暇支援・運動支援に分けて療育を行っている。	*回答なし1 *利用者の個別支援計画に基づき発達支援・生活支援・自立支援・学習支援・余暇支援・運動支援に分けて療育を行っている。 *療育前の当日スタッフミーティングで評価や改善を行い、問題ない場合は定期モニタリングを行う。*緊急を要する場合は関係機関（保護者・学校・相談支援専門員・行政等）支援会議ができる体制をとっている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	0	保護者等向け評価表のアンケートも基に保護者の意向を確認する会議を行う。	*回答なし1 保護者の意向は連携と相談体制を整備するとともに、今後は保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	1	0	事業所掲示板に掲示している。	*回答なし2 今回ホームページを新しく作り変える準備しているので、連絡ツールを使用し保護者に公開する。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	3	0	他事業所の職員や福祉関係者の見学等の受入し、指摘や意見を頂き業務改善に繋げている。	*回答なし2 他事業所の職員や福祉関係者の見学等の受入し、指摘や意見を頂き業務改善に繋げている。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10	0	0	佐賀県療育センターの研修会等に参加している。	*虐待防止研修、発達障害研修等の参加。事業所内研修の実施。またスタッフから自己啓発の研修、スキルアップの為の研修の参加を認め、研修費用も事業所がもっている。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	0	アセスメントで細かい部分まで課題が見えるようになっている	*回答なし1 モニタリング時や子供たちの状況変化時など適切な時期にアセスメントをとっている。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	1	0	状況を把握する為にきめ細かな、標準化したアセスメントシートを使用している。	*回答なし1 適応行動状況把握のためのアセスメントはモニタリング時や計画時、状況の変化があった場合に見直しできるようにしている。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1	0	毎回スタッフで振り返りを行い活動している。	*回答なし1 事前の話し合いの中で、各児童の担当者から活動プログラムと実施方法等について提案があり検討し実施している。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	0	利用者のレベルが向上するようにプログラムを工夫する。	*回答なし1 *活動プログラムを児童の発達状況に応じて行っている。ワークに対する意欲・興味が短時間しか持たない児童には特に配慮している。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	10	0	0	家族の意見を聞き、その課題に取り組めるように努力している。	平日は学習障害に対する支援（言葉の習得・学校の勉強の補助）や生活自立支援（排泄・身辺自立等）を主に行う。 *長期休暇は社会見学・就労B事業所等の就業体験・外食・買い物訓練・物つくり等経験や体験を積み重ねる活動を行い、自己肯定感を高めるようにしている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	0	本人の状況や状態に合わせた無理のない計画を立案している。	*回答なし1 *児童の状況や障害特性を考慮して、個別と集団活動を適宜組み合わせることがベストと考える。 *児童の状況に応じたモニタリングを行い放課後等デイサービスの計画を作成している。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	1		日々の療育スケジュールを確認し、各担当で役割分担をしている。	*回答なし1 *平日は13時から送迎時間等の確認、利用者の支援状況、役割分担を確認している。

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	2	0	送迎があり支援終了後の振り返りを行うことが難しいので、翌朝のミーティング時に行う。	*送迎でスタッフがそろわないので必ずその日の支援の振り返りや城を共有できないのでケース記録や連絡帳、昼の支援前会議で共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	0	日々の記録は連絡帳やケース記録、日誌に記録している。	*回答なし1 *日々の記録は個別のケース記録や学校と共有化している連絡帳等で記録の徹底している。支援前会議でそれらを活用し支援の検証・改善に努めている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0	0	支援会議を開催し、支援者の意見を聞き、モニタリングを実施している。	*回答なし1 *6ヶ月、1年のモニタリングを確実にこなしている。本人の状況等を記録や会議の中で検討し必要と思われる場合は見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	9	0	0	日常生活支援、外出支援、学習支援などを組み合わせ取り組んでいる。	*回答なし1 *自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の活動を実施する。 *体を使った運動等を組み合わせさせて支援をおこなっている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	0	児童発達支援管理責任者が基本参加し、必要に応じて児童指導員が参加する。	*回答なし1 *できる限り直接支援している、児童指導員に参加してもらう為に担当者会議を午前中に開催してもらうなど工夫している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	10	0	0	学校情報等、必要な時はホームページなどで確認している。分からない時は、直接連絡をして調整を図っている	*佐賀中部地区放課後等デイサービス連絡会の定例会で学校行事、駐車場、その他の情報連絡を行っている。 *各市の障がい者福祉福祉課や教育委員会との連携もおこなっている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	1	0	看護師の資格を持ったスタッフがいますので、てんかん発作時・緊急時対応と安心できる。	*回答なし1 *医療的ケア児については医療面の設備の対応が不十分なために基本的に受け入れ予定はない。 *法人スタッフが看護師の資格者や囁託医の協力、往診体制はできている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	2	0	保育所等から情報提供してもらえように関係機関との連絡、調整できるようにしている。	*保育所等から情報提供してもらえように関係機関との連絡、調整できるようにしている。 *関わりについて、対応等の苦慮した場合電話等ですぐ対応してもらえようようにしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	3	0	障害者福祉サービス事業所から情報提供依頼がある場合に保護者の了解を得て提供している。	*回答なし1 *生活介護、入所系事業所についても長期休暇時の体験等で顔なじみの関係を作っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	2	0	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	*回答なし2 *児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	5	1	長期休暇時児童館を利用している。	*回答なし1 *長期休暇時の児童館利用や行事等のなかで、交流を図っていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	4	1	令和5年度の自立支援協議会研修(災害における基礎知識)に参加する	*回答なし2 *佐賀地区自立支援協議会は年1回の研修がある。児童部会はない。児童部会の開催を佐賀市との会合の際要望しているが実現していない。 *佐賀中部地区放課後等デイサービス連絡会への参加して情報の共有化している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	0	家族が希望する目標に向けて療育内容を検討し課題に取り組んでいる。	*回答なし1 *送迎時や連絡帳、ライン・面談電話相談等で共通理解を図っている。 *インスタグラム等で日々の様子を配信している。 *個人情報保護・管理は十分注意して行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7	3	0	ペアレント・トレーニング等に限らず、佐賀県療育センター主催の講習会ポスターを掲示し、スタッフや保護者が参加できるようにしている。	*ペアレント・トレーニング等に限らず、佐賀県療育センター主催の講習会ポスターを掲示し、スタッフや保護者が参加できるようにしている。 *研修会等で知り得た情報についてHUG、プーさん便り等を通してお知らせしている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10	0	0	契約時や連絡帳、送迎時の話、面談等で説明している。	運営規程、支援の内容、利用者負担等は、送迎時、プーさんたより、個人面談時などできるだけ説明できる機会を増やすようにしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10	0	0	いつでも相談が聞ける体制を整え適切な助言をしている。	送迎時に本人の様子を伝えたり、連絡帳のやり取りの中で悩み等を聞く機会をつくり、問題によっては面談や相談支援専門員、関係機関と担当者会議の開催、紹介をおこなっている。」

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	4	2	保護者会について、保護者の中で立場や考えの違いなどにより保護者会として活動していないが、保護者と情報交換としての茶話会や個別面談の充実を図る。	* 回答なし1 * 保護者会について、保護者の中で立場や考えの違いなどにより保護者会として活動していないが、保護者と情報交換としての茶話会や個別面談の充実を図る。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	0	0	内容は記録し、苦情相談責任者へ報告し、迅速な解決に向けて取り組んでいる。	* 苦情にたいする窓口や担当者を決めて対応し、契約時にも周知している。 * 事業所内の掲示板に担当者や相談時間等を掲示している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10	0	0	フェイスブックで発信をしている。 長期休みの行事計画は事前に保護者へ配布している	* ブーさん便りを季刊で発行している。 * 長期休暇時の行事は予定表を配布している。 * 日々の活動様子や行事もインスタグラム等で配信している。 * SNS発信時の顔出し等の個人情報取り扱いについて確認をとっておこなっている。
	35	個人情報に十分注意している	10	0	0	個人情報の取り扱いをスタッフ間で共有し、個人情報に関しては鍵のかかる場所で保管している。	* スタッフにたいして個人情報に関する誓約書をとり退職後も情報を流さないことを誓約している。 * 取り扱いについても個人情報に関する物はシュレッダー処理している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10	0	0	PECSなどカードを用いて配慮を行っている。保護者等の連絡はラインを利用している	* PECSなどのカードや説明時に文字を大きくしたり、その物の写真、イラストなど本人の理解度や特性に応じて情報を伝達している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	2	2	夏祭りや餅つきなど行事を地域の方にお知らせしている。近くの保育園とはポニー乗馬体験、電動車椅子体験、利用者交流を法人で	* 夏祭りや餅つきなど季節行事の参加呼びかけしている。 * 近くの保育園、お寺、地域行事の際は駐車場を提供している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10	0	0	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定している。	* 職員が閲覧できるようにしている。 * 令和6年度は安全計画に基づいてマニュアルの周知、事業所内研修を実施する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10	0	0	年2回の避難訓練を実施	* 年2回の避難訓練を実施と防災研修の参加を行っていく。 * 施設内にも避難経路図や防災標語を掲示し、防災に対する啓蒙活動もおこなっている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10	0	0	虐待防止の研修会に参加したり、事業所内での研修にもあがりしている	* 虐待防止委員会を設置し、年2回スタッフに対する虐待アンケートを実施し、虐待予防に努める。 * 日々の中で同じ服を何度も着てきたり、不衛生、食事を取っていないなど虐待のサインを見逃さない様になっている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	1	0	現在、身体拘束をとまう支援はおこなっていない。	* 身体拘束については虐待防止委員会の中で対応している。 * 支援会議を開催し家族同意の文章作成のもと計画するようにしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	1	0	医師の指示書が必要な児童をまだ受け入れたことがない。	* 対象児を受け入れた場合、医師の指示書に基づき対応する。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10	0	0	事例集は作成していないが、ヒヤリハット報告書を作成し全職員へ回覧している	* ヒヤリハットについて会議の中で全員が共有できるようにしている。 * ヒヤリハット事例は職員全員に回覧している。	